

Contents

■ 未来に向けて森林を活かそう	2P・3P
■ 公共交通を利用しましょう	4P
■ 日曜日窓口開業、住民基本台帳カード	5P
■ 子育て応援メール配信します	6P
■ しょうがい福祉手当、児童扶養手当、入学奨励金	7P
■ 国民健康保険、市営住宅入居者募集	8P
■ 長浜赤十字病院改築、人口透析交通費助成	9P
■ ほつとにゆ〜す	10P・11P
■ 江・浅井三姉妹博覧会プレミアムお買い物券、座ぶとん会議	12P
■ 市政の動き、環境、江・浅井三姉妹博覧会情報	13P
■ ぶんスポちゃんねる、生涯学習	14P
■ 人権ってなあに、交通災害共済加入申込	15P
■ 多文化共生、消費生活相談、風雅のまちづくり	16P
■ 国民年金、市長コラム	17P
■ インフォメーション	18P・19P
■ 裏表紙 ながはま百景②	
「宮部かすみ堤の桜と菜の花」	20P

今月の表紙

女子プロ野球選手がやってきた！ おくスポ野球教室

写真は、2月19日(土)西浅井運動広場体育館をメイン会場に行われた野球教室の1コマです。

この日は午前中に、西浅井地域の総合型地域スポーツクラブ「奥びわ湖スポーツクラブ」の設立総会が開催され、野球教室はその記念事業として行われたものです。

子どもたちは、女子プロ野球「兵庫スイングスマイリーズ」の選手からキャッチボールやティーバッティングなど野球の基礎を楽しそうに教わっていました。



未来に向けて森林を活かそう

森林は、私たちの生活に必要な木材などの生産の場であるとともに、琵琶湖の豊かな水をはぐくみ、洪水や土砂災害を防止して私たちの生命や財産を守る機能を持っています。さらに、二酸化炭素を吸収することによる地球温暖化の防止や生物多様性の保全、保健休養の場を提供するなど、とても大切な多面的機能を合わせて持っています。私たちは、森林から計り知れない恵みを受けていて、森林は私たちの暮らしと切り離すことができない、たいへん貴重な財産です。

皆さん一人ひとりが森林に関心を持ち、私たちの暮らしを支えるかけがえのない森林を健全な姿で未来に引き継ぎましょう。

■ 現状と課題

市の面積の約70% (図1) を占める森林 (うち私有林は87% 図2) は、これまで森林所有者による木材生産を通じて、また薪・炭などの燃料用木材の採取の場として地域に住む人々の暮らしと深く関わりながら保全されてきました。

しかし、木材価格の低迷に伴う林業の不振や、山村地域の過疎化・高齢化の進行、石油などの石化燃料の普及による生活様式の変化によって森林と私たちの関係が希薄化しているため、手入れが行き届かない森林が増加しています。

森林は一度荒廃するとその回復には100年を単位とする相当の年月が必要となります。今私たちは、森林の荒廃がもたらす影響を考え、多面的な機能を持つ森林の価値を再認識し、市民共有の財産ともいえる森林を保全するため森林所有者だけに任せるのではなく、社会全体で支えることが必要となっています。

■ 里山の森林づくり活動

里山は、私たちの身近な自然環境ですが、今日、生活スタイルの変化に伴い以前のような手入れが行われなくなり森林の荒廃により里山特有の動植物の活動が衰退するなど、主に生物多様性の面から放置できない状況にあります。

そこで、市と地元自治会が協定を結んで進める里山リニューアル事業や、みんなの森づくり活動支援事業などを活用しながら、森林づくり活動団体による里山整備が進められています。

〔活動事例〕

雨森竹の会 (高月町雨森)

手入れがされず荒れてしまった高時川沿いの竹林を昔のようならぬ竹林にしようと平成21年から「傘をさしても散策できる竹林」を目標に掲げ、間伐を中心とした整備が行われています。これまでに約5千平方メ

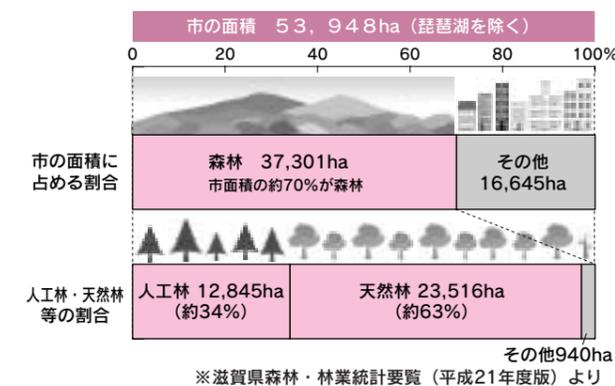


▲間伐した竹をチップにする会の皆さん

ートルの竹林をよみがえらせました。整備を始める前は、山から降りてきたクマなどの格好のすみかになっていました。近所の作物を食い荒らす被害もありましたが、今では被害もすっかり減りました。同会代表の大橋基明さんは、「かつて遊んだ空間を復活させて、竹林でお月見をしたい」と意気込んでおられます。

市内には、「雨森竹の会」のように森づくり活動をしている団体がたくさんあります。皆さん、参加してみたいか、ご存知ですか？活動団体や森づくりイベント情報などは、森づくりネット・しが※でご覧いただけます。また、このような森づくり活動の場として、自分の山林を提供してもよいという人は、市農林水産課

図1 市の森林の区分 (人工林と天然林)



(☎65-6526) までお知らせください。

■ 未来に向かって

2011年は、国連の定める「国際森林年」です。世界で森林に対するさまざまな活動が実施されます。市においても、森林の多面的機能が十分発揮されるよう、里山整備と人工林の適正な間伐を進めます。特に間伐は、森林境界の明確化や施業の集約化、作業路網の整備などが大切です。森林所有者の皆さんの積極的な関わりをお願いします。

今後、広報ながはまでは森林を活かすための手法や現在取り組まれている団体の活動についてシリーズで紹介していきます。



▲癒しをもたらす山のみどり